

仙白園プロジェクト

電話No. 69



ハクサイ

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。

4月13日（土）に今年度1回目の活動を行いました。今年は、4月に入ってからの突然の降雪などがあり、桜の開花が少し遅れていましたが、当日は、暖かい日差しの中、お花見会をしながら、今年度の活動計画について話し合いました。今年度から新しく参加してくれた学生の多くが、大学のオリエンテーリングのため、参加できませんでしたが、地域の方々が電動耕運機で全体を耕した後、みんなでうね作りを行い、じゃがいも・枝豆・きゅうり・とまとの植え付けをしました。昨年の秋に、畑のすぐ南側に生えていた大きな木を3本切り、仙白園の畑の日当たりが、ずいぶんとよくなりました。1日、2～3時間だけしか日が当たらなかったのが、かなり改善されました。

今年度も、仙白園の活動をより多くの人たちに知ってもらう活動を中心に、仙白園の由来や、仙台白菜について伝えていくことができるように活動していきたいと考えています。また、他団体との連携をいかし、地域の人たちと関わる機会を増やしてしていきたいと思います。みなさんのご参加をお待ちしています。



しだれ桜のたくさん
のつぼみが、赤く
膨らんできました。



正確に測りながら、
うね起こしをしま
した。



次回の活動は、4月27日（土）に、「野々島」に出かけていくイベントです。大型連休が始まります。疲れをためずに、元気に頑張りましょう！



仙台市若林区中央市民センター

TEL:022-282-1173

FAX:022-282-1180

仙白園プロジェクト

通信No. 10



ハクリン

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



ハフティー

4月27日(土)に仙台白菜のふるさとである松島湾に浮かぶ野々島を訪ね、「白菜のルーツを探る旅」を開催しました。当日は、仙白園メンバーだけでなく、たくさんの参加者もいたので、総勢100人ほどの団体になりました。あいにくの雨模様で、時折強く降ることもありましたが、菜の花(白菜)が辺り一面にきれいな花を咲かせていました。参加者の中には、「黄色く咲いている菜の花が、白菜の花とは思えない。」などの感想を持った人もいました。ほとんどは、花を咲かせる前に白菜として収穫して食べてしまうので、花を咲かせた白菜の姿を見た人は少ないようでした。花を見ながら、白菜鍋を食べ、おいしく食べることができました。

より多くの人たちに、仙白園(養種園)の由来や、仙台白菜について伝えるという活動の大切さを確認し、仙白園メンバーも白菜のルーツを再確認したよい旅となりました。



白菜の花がとてもきれいで～す!



花よりも華やか!?



来年こそは、青空の下、野々島散策をしたいです。また行きたいで～す!



とても、寒かったけれど、おいしく白菜を食べました。みんなで楽しく仙台白菜の歴史を学びました!



ハフティー

仙白園プロジェクト

通信No. 11



ハクリン

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



ハフティー

7月28日(日)に仙白園プロジェクトの「夏の収穫交流祭」を行いました。今回は、チャイルドボランティア(チャボ)のメンバーが9人、ジュニアリーダーが11人、仙白園プロジェクトから16名の参加があり、大人数での夏の収穫を楽しみました。朝から台風による降雨が心配される中、準備を進めましたが、9:30の開始の頃には、からりと晴れ、気温が34℃にもあがりました。

4月に植えた4種類のジャガイモ(インカのめざめ、男爵、メークイン、キタアカリ)と枝豆、きゅうりとミニトマトが収穫の時期を迎えました。参加者全員で大きく育ったじゃがいもを掘り当てるべく、懸命に土を掘り返しました。土の中からゴロゴロとした握りこぶしよりも大きなじゃがいもをたくさん見つけることができました。「種類によっていものかたちが違うね。」「1個のジャガイモから、10個以上もとれるんだね。」など、子どもたちの思い思いの感想が聞かれました。

少し動いただけでも、滝のような汗が流れる気温でしたが、みんな笑顔で30分ほどで、買い物かごで7個分くらいのじゃがいもと、枝豆、きゅうり、ミニトマトを掘ることができました。



30人みんなで掘ると、早いな~!

いもは、どこだ~! 見つけろぞ~!

食べても、食べても、きゅうりが減らない!

洗っても洗ってもいもがある!!



バケツ2杯分のミニトマトを収穫！



買い物かごいっぱい
の枝豆も収穫！



採れたてじゃがいもを
そのまま焼きました！



どれから食べようかな？



はじける笑顔！)^o^(



ピース！！！)^o^(



おいしい！
口の中で広
がる芳醇な
味わい！



サポートメンバーも大忙し！じ
ゃがいもの次は、枝豆の調理だ！

じゃがいもを焼いた後は、「とろとろして美味しい!」「うわ〜、燃えた〜!」など、お約束の焼マシュマロでした。チャボのメンバーだけでなく、地域の方々もそれぞれの焼き加減で、マシュマロを焼いて食べました!



ジャガイモ掘りの後に、冬の収穫祭に向けて、白菜の種まきをしました。「白菜の種って、もの1mmくらいの小さい種なのに、サッカーボールくらいの大きさになるんだね。」と、白菜の種を見たことがなかった子どもたちがほとんどでした。

今回、「松島新2号」、「松島純2号」、「秋の祭典」、「オリンピア」という品種の白菜の種をまきました。「おいしい白菜が採れるといいね。」、「冬の収穫祭にもぜひ参加したいです。」など、早くも次のイベントを楽しみにしている参加者もいました。

参加者全員が笑顔になれるよい収穫祭になりました。



仙白園プロジェクトでは、仙白園での活動を通して、仙台白菜発祥の地としての歴史と、食を通じての地域交流を図ることができればいいなと思います。今後もこうした企画をどんどん考えて、多くの方々に参加してもらえればと思います。



令和元年 8月24日 仙台市若林区中央市民センター

仙白園プロジェクト

通信No. 12



ハクリン



ハクタイー

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てることを通して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。

8月24日（土）の活動は、仙白園メンバーとチャイルドボランティアのメンバーに協力をしてもらい、仙台白菜の原種である松島純2号と松島新2号、秋の祭典と来年のオリンピックにちなんでオリンピックという品種を4種類の植え付け作業を行いました。朝方までの強い、降雨のために、むしむしとした湿気で、足元がとられながらの作業でしたが、ベテランサポーターの指導の下、みなでうねを起し、白菜の苗を植えることができました。しっかりと働いた後は、お待ちかねの流しソーメンならぬ、たらいソーメンを、おなかいっぱい食べることができました。植えつけられた白菜は、12月21（土）に予定されている仙白園のメインイベント・冬の収穫祭（仙白園クリスマス会）で、来場者の方々に試食してもらう予定です。今年は、若林区ぼっちゃ区民大会との同日開催なので、できるだけたくさんの方々に食べていただけるように、準備できればと思います。順調に収穫することができるように、大きく生長してほしいと思います。

畑の土を混ぜて、うねを起し、白菜の苗と大根の種を植えました。



小雨交じりの天気でしたが、頑張って種をまきました。



今回、参加して下さったみなさん、ありがとうございました。冬に立派な白菜と大根が収穫できればと思います。畑で採れた新鮮野菜を使った鍋料理をたくさんの方々にお振る舞いできればと思います。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

仙白園プロジェクト

活動No. 001

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



8月17日（土）に、仙白園メンバーが、初めて参加する「六郷東部夏まつり」が行われました。「六郷東部まつり」とは、六郷東部において活動をしている「わたしのふるさとプロジェクト」のメンバーが企画し、今年で2回目となるイベントです。震災で、被災した地域の住民が、自ら地域を盛り上げるために、起こした企画です。まだ、立ち上げたばかりの企画「六郷東部夏まつり」を、何とか成功させられないかと立ち上がったのが、仙白園の学生メンバーたちです。

4月のはじめから、「わたしのふるさとプロジェクト」の会議に参加させていただき、企画の作り方や準備の仕方を学ばせていただきました。主たる活動の「仙白園プロジェクト・畑づくりは人づくり」と同時並行なので、「六郷東部夏まつり」には無理せず、できることで参加させていただくということを学生同士で話し合いました。そこで、夏まつりでは、自分たちのブース運営「駄菓子屋仙白園」として参加させていただくことにしました。今年、初挑戦することなので、どんなブースにするのかを話し合い、商品に「駄菓子を売る」と、「スーパーボールすくい」の遊びのコーナーを作ることにしました。また、夏と言えば「浴衣だよ」と、衣装を決め、まつりを盛り上げました。

後日行った反省会では、六郷で活動をしている「私のふるさとプロジェクト」メンバーや、地域の方々から大変感謝され、「やってよかった。また、協力したい。」という感想が参加した全員から聞かれました。

これからも仙白園の活動を通して、地域の人たちと関わる機会を増やしてしていきたいと思ひます。みなさんのご参加をお待ちしています。



とても、暑い日ですが、浴衣を着ているので、とても涼しいです！がんばります！



地域の方々が、夜遅くまで熱心に話し合っている姿が大変素晴らしいと思ひました。私たちにできることで協力したいと思ひます。



駄菓子屋仙白園で～す！いらっしやいませ！
カブトムシ100円で～す！

令和元年11月14日 仙台市若林区中央市民センター

仙白園プロジェクト

通信No. 13



ハッリン

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



ハフタイ

11月14日（木）に、仙白園プロジェクトで前回台風のために中止となった「サツマイモの収穫」を行いました。今回は、平日開催のために、学生ボランティアの参加ができなかったため、ベテランメンバー3人だけの参加でしたが、楽しく活動することができました。

5月に植えた10cmほどのサツマイモの苗が、100倍以上の1メートルを超え、たくさんの葉を付けました。畑の外まで伸びたつるを刈り取るのはとても大変でした。つるをたどって芋を掘ってみると、何と1つ1つの芋の大きいこと40cmを超えるサツマイモが土の中からたくさん出てきました。収穫後、別に用意していたサツマイモをふかして、みんなでお茶のみをしながら、次の仙白園クリスマス会の活動について、打ち合わせをしました。



大収穫だ！
どれも大物です！



さつまいものつたがびっしりと伸びています。



令和元年11月24日 仙台市若林区中央市民センター

仙白園プロジェクト

仙台No.14



「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てることを通して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。



ハクティ

11月24日(日)に、9月に農業園芸センターの市民農園に植えた仙台白菜の収穫祭を行いました。当日は、朝から小雨交じりの天気でしたが、仙白園のみなさんやチャイルドボランティアのみなさんのおかげもあり、無事に収穫することができました。苗を植えてから3カ月が経ち、一つ一つの白菜が丸々と大きく育ちました。今年は、夏の猛暑、台風の影響がありましたが、昨年よりも形のよい大きな白菜を収穫することができました。雨の影響で、イベントに参加する方の人数は少なかったのですが、その分だけ、選んだ白菜を自分で、2個、3個と収穫してお持ち帰りいただきました。「こんなにたくさんもらっていいの?」と大喜びで、「今日の晩御飯は、白菜鍋を作ろう!」と口々に話し合われている姿が見られ、参加者全員が両手いっぱい白菜を抱え、冬の収穫を喜び合いました。また、全体会では、若者によるショートコント「白菜」が行われ、会場の参加者の笑いを誘うなど、大いに盛り上げる姿も見られました。

来月13日(金)の漬物づくりと21日(土)の仙白園クリスマス会に向けてのPRも忘れずに取り組みました。次回は、若林区中央市民センターでもたくさんの来場者に喜んでもらえるように、会の準備を協力して進めていきたいと思ひます。



雨にもかかわらず、50名の方がイベントに参加してくださいました。

わたしたちが仙台白菜をみんなに伝えます!

ショートコント「白菜」

大きいなあ!「どれにしようかな?」

どれも大玉の松島純2号です!

「仙白園クリスマス会」 12月21日(日) 11:30~13:00

若林区中央市民センター 別棟3階 調理室 ぜひ、食べに来てください!

令和元年12月13日・18日 仙台市若林区中央市民センター

仙白園プロジェクト

通信No. 15



ハクリン



ハクティーン

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てることを通して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。

12月13日（金）と18日（水）の活動は、12月21日（土）の仙白園の1番のイベント「仙白園クリスマス会」に向けてのキムチ&白菜漬け作りとイベントについて話し合いました。

13日（金）は、白菜と大根の下漬けに取り組みました。18日（水）は、味を調える活動に取り組みました。今回は、平日開催ということで、ベテラン仙白園サポーターのみで、漬け物樽3つ分（白菜6玉）と大根のカクテキづくりに取り組みました。今年も仙白園の畑から、たくさんのオリンピアという品種の白菜と仙台地大根という品種の大根が取れました。1週間の浅漬けなので、塩加減に注意しながら、和気あいあいと活動することができました。

来週は、仙白園のメインイベント「白菜たっぷり鍋でクリスマス会」なので、仙白園メンバーの真心のこもった白菜鍋をたくさんの来場者の方たちに喜んで食べてもらえるように、準備を進めていきたいと思えます。

また、当日は、ぼっちゃ若林区民大会と同時開催なので、いつも以上に張り切っています。

「漬け物で大切なのは塩加減、長年の経験がものを言います！」今年もおいしく仕上がります！

今回の参加者は、ベテランのみなさんです！仙白園クリスマス会に向けて、白菜漬け・キムチ漬け・カクテキの準備ばっちりです！



来週のイベント本番の準備は、ばっちりです！たくさんのお客さんの喜んでもらえるといいな！たくさんのご来場をお待ちしております！
待ってま〜す！！！！



ハクティーン

令和元年12月21日 仙台市若林区中央市民センター

仙白園プロジェクト

通信No. 76



ハクリン



ハクチャー

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てることを通して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。

12月21日(土)に⑥、「仙白園クリスマス会」が行われました。この日に向けて、春から畑づくりに取り組み、夏に白菜と大根を植え、育ててきました。仙白園クリスマス会は、仙白園の活動の中で一番大きいイベントだけに、メンバー一人一人朝からとても気合が入っていました。オープン1時間も前から、すでに楽しみにしていた地域の方が、「今年で4回目の参加かな。毎年、来てるよ!」と、開店を待っていていました。今年は、「ぼっちゃ若林区民大会」と同日開催にしたことで、別棟ホール3階は、たくさんの参加者の方でいっぱいでした。年末の恒例イベントになった「仙白園クリスマス会」、顔なじみの方や、チラシを見たたくさんの地域の方々に、市民センターに足を運んでいただき、とん汁、キムチ鍋、白菜のクリームシチュー、合わせて278杯分を食べていただきました。今年も大盛況でした。

うんとこしょ
どっこいしょ
まだまだ大根
が抜けませ
ん!ぬぬぬ、抜
けない!
まさか、大きな
カブでは!?



切り方にもコツがあるのよ!



2時間で300食を作る!?! 忙しい!



味加減はこれでいいかな?



楽しくおしゃべりしながらも、みんな真剣です！



おいしいこと間違いなし！



じっくりと煮込み中！



今年もおいしくできたね！



若者チームのチームワークは、ばっちりです！



おいしくできました！全員3種の味×？杯食べました！



仙白園メンバーみんなで、会の成功を喜び合いました。「仙白園プロジェクト」をたくさんの市民の方々に知ってもらいよい機会となりました。来年も頑張るぞ！

仙白園プロジェクト

発信No.11



ハクリン



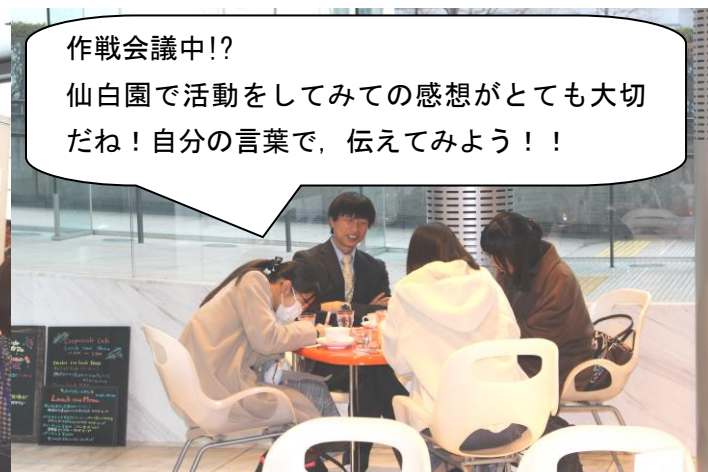
ハクタイ

「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てることを通して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。

1月19日(日)にせんだいメディアテーク オープンスクエアにおいて、平成31年度「若者社会参画型学習推進事業」の成果報告会が開催されました。「仙白園プロジェクト・人」からも3人の学生が参加し、これまでの取り組みについて発表してきました。各区の成果報告のあとは、会場を変えての交流会が設けられてのフリートークとなり、取り組み内容について説明するなど他区の若者の方々との交流を深めました。



展示を通して、仙白園を知ることができました。のぼりができました。



作戦会議中!?

仙白園で活動をしてみての感想がとても大切だね!自分の言葉で、伝えてみよう!!



緊張するけれど、頑張ります!



- ・ 地域の方々との交流を通して、自分の考えを深めたり、自分を見つめたりする良い機会となった。
- ・ 学校だけでは、学ぶことができないことを学ぶことができる。たくさんの出会いを通して、学べる。
- ・ イベントを通して、震災復興に携わっている方から、地域を盛り上げていこうとする熱い思いを知り、「自分たちにもできることで地域を盛り上げていきたい。」と、強く思った。
- ・ 「人の役に立つことをしてみたい」けれど、初めは不安な気持ちであったが、周りの人たちが温かく迎え入れてくれたので、活動がだんだん楽しくなってきた。
- ・ 相手の立場に立って活動することの大切さを学ぶことができてきた。

<成果報告会参加者学生から>

○PRの仕方を工夫して、もっとたくさんの学生に参加してもらえるとよい。

①若林区の若者から、ほかの区の事業を見てどう思いましたか

○他の区の活動を知ることが出来て非常に良かった。よいところを自分たちの活動に取り入れていきたい。

②若林区発表で参考になったのは、どんなところでしたか

○参加した学生の生の声を聴くことができたのは、非常に良かった。

仙白園プロジェクト

仙台市若林区
中央市民センター



「仙白園プロジェクト・人」は、若者を中心に、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、参加者の活動を社会・地域につなげることを目指しています。

1月25日（土）に仙白園メンバーが、8月にお手伝いさせていただいた「六郷東部夏まつり」に引き続き、六郷東部において活動している「わたしのふるさとプロジェクト」のメンバーが企画している「第5回鎮魂の花火」にも参加させていただきました。今回は、会議だけでなく、事前準備や募金活動にも参加させていただきました。



市民まつりでの募金活動の様

4月から、「わたしのふるさとプロジェクト」の会議等にも参加させていただくことで、メンバーの方々にも頼られるようになってきました。今回は、当日のお手伝いとして、会の運営補助をお手伝いさせていただきました。「募金活動で得たお金のみで花火を打ち上げている」という運営の仕方に、仙白園メンバーは、大変驚いていましたが、それだけ地域の方々の思いが大きいのだということに改めて実感していました。また、こうした取り組みから、強い人の思いが、たくさんの人たちの心を動かすということを知り、より自分たちにできることを考えるよいきっかけとなりました。

当日は、1月ということに寒風が吹く気候にもかかわらず、300人を超える人たちが、真冬の夜空に打ちあがる花火を見つめながら、震災で亡くなった方々に思いを寄せたり、久しぶりに会った人たちの再会を喜んでいたりしました。

今回学んだことを、これからの仙白園の活動にも生かしていきたいと思えます。



真冬の夜空に、打ち上げる花火は、とてもきれいでした。みなさんの思いがひとつになっているそんな気がしました。